



森下君を支える？！ 一体どうやって？

本紙No.2869では、脱落者たちは新労組を立ち上げようと画策しているが、それは会社と闘わない労組、名前だけの労組、J R 東海ユニオン以下の労組であることを明らかにしました。

名前だけの労働組合であっても、ちゃんと法人登記を行い、会社に労働協約締結を求め、形だけでも会社への申し入れ・団交・業務委員会などを開催しなければなりません。

しかし、会社は労働協約締結に応じるのでしょうか？応じなかったら労働委員会への斡旋や申し立てをやるのでしょうか？団交委員は誰がやるのでしょうか？会社への申し入れは誰が作成するのでしょうか？

いやそれよりも、森下以外はまもなく退職です。森下一人になったら組合活動は不可能どころか組合組織そのものが消滅です。それとも退職して継続組合員となって森下を支えるのでしょうか？

いや脱退を表明している者は、J R 東海労の継続組合員方針に反対してきたのですからそれはありえません。実際「継続組合員なんかやらない」と言っている者がほとんどです。

第一、脱退する以前に、退職も近いからと組合役員を辞めて、組合の取り組みに顔を出さなくなった者が「新しい組合」で組合活動をやるなどということはあり得ません。そうでないと言うのなら、脱落者の皆さんは是非とも新組合結成にあたっては継続組合員となって森下を支えると力強く宣言してほしいものです。

そもそも森下自身も、昇格試験不合格に対する苦情申告を出し渋っていたように、職場で管理者と正面から対決できませんでした。会社への申し入れを作成するのも一人では大変だったのであり、団交などでも会社に対して先頭に立って論争などできていなかったのです。

これから新労組の委員長として、会社と闘えるのでしょうか？現役組合員が自分一人になっても、新労組を代表して職場で正々堂々と管理者と闘えるのでしょうか？まさかJ R 東海労から脱退したから、もう会社からの攻撃はないなどと錯覚してないでしょうね。

「森下を支える」と表明した者は言ったことに責任を持ち、退職金をカンパしてはどうでしょうか。